

平成 27 年 9 月 18 日

平成 27 年度区外施設定期監査意見・要望事項の措置状況

教育委員会事務局

意見・要望事項	措置状況
<p>(1) 施設の有効活用について</p> <p>区有施設については、効率的・効果的に使用していく必要がある。教育指導課が各小学校長宛てに通知した「平成 26 年度実施日程のスケジュールリングについて」（平成 25 年 9 月 19 日付け目教指第 4719 号「平成 26 年度小学校自然宿泊体験教室の実施日程調整に係る希望調査について（通知）」の別紙 1）においては、学校の施設利用に当たっては、原則として、中規模（当該学年が 3 クラス）以上の学校は単独利用とし、小規模（当該学年が 2 クラス以下）の学校は、2 校での合同利用（2 校連合）として実施することとされている。</p> <p>施設の利用定員は 190 名であり、そのうち児童が使用する宿泊室の定員は南棟・北棟で各 80 名、合計 160 名となっている。</p> <p>しかしながら、26 年度の利用実績をみると、1 校のみの利用及び 2 校連合での利用において、80 名を超えて利用したのは、4 年生では、18 日程中 7 日程であり、6 年生では、15 日程中 7 日程（特別支援学級の利用を含む）、全体で</p>	<p>(1) 施設の有効活用について</p> <p>自然宿泊体験教室の日程は、小中連携教育のねらいと施設の有効活用を踏まえ、同一中学校区域にある小学校同士での 2 校合同実施を優先に、できる限り 2 校合同での実施を原則としている。</p> <p>施設を 3 校以上の編成で合同利用することについては、学校の事業運用上のメリット・デメリット、施設の管理運営上のメリット・デメリットを、学校長会と協議し、施設の有効活用の方法として適切であるかどうかを総合的に研究・検討したい。</p> <p style="text-align: right;">（教育指導課）</p>

3 3 日程中 1 4 日程と 4 割程度に止まっており、施設規模的には、1 棟のみの利用で足りると思われる状況が多く見受けられる。体験プログラムの実施や食事等への対応についても、食堂兼学習室が 3 室あることから、それらを活用すること等により、効率的な運用が可能になると考えられる。

学校行事の都合等により、日程編成に制約があることは理解するが、自然宿泊体験教室事業全体の効率的・効果的な運営を図る観点も含め、2 校利用を上限とするのではなく、組合せによっては 3 校以上の編成も可能とするなど、より効率的・効果的な施設利用を図られたい。

(2) 目的外使用の促進について

本施設は、7 月から 8 月の夏季休業及び 1 月から 3 月等、学校の利用がない時期があり、施設の有効活用の面から、一般の目的外使用を促進する必要がある。

目的外使用については、平成 24 年度に目黒区興津自然学園宿泊室の目的外使用許可の手續等に関する要綱を定め、これに基づき実施しているが、平成 26 年度の実績は 1 組 20 名のみであった。要綱では、使用を許可することができる場合を定めているが、レクリエーションを目的とする使用が含まれておらず、また、行政目的以

(2) 目的外利用の促進について

興津自然学園改修工事の説明会を実施した際に、地域住民から地元の民宿等への影響について質問があった。

一般の目的外利用を促進することは、学園周辺の観光業界への懸念もあり、区側も地域住民からの質問に配慮した回答をしている。

地域経済等への影響等も踏まえると、区が積極的に目的外利用を推進することは、地域とのこれまでの関係を考慮すると慎重に対応せざるを得ない面がある。

しかし、目的外使用の促進については、利用実績は少ないが、施設の有効活用を図る観点から目的外利用を一

<p>外での利用を区の区域内に所在する団体に限定していること等の制約が多いものとなっている。目的外使用の促進を図るための工夫や、必要に応じて要綱の見直しを検討されたい。</p> <p>(3) 崖及び斜面の保守管理について</p> <p>本施設は高台にあり、周囲を崖及び斜面に囲まれ、崖のすぐ下には民家が存在している。区では、崖の調査を毎年行い、必要に応じて法面の補強や斜面の補修工事を行っている。しかし、興津健康学園開設時に建設した擁壁部分もあり、崩れ等が発生しないよう十分な注意を払う必要がある。今後の区有施設の見直しの検討も見据えながら、施設課等と連携し、計画的に補強工事を行う等、適切な保守管理に努められたい。</p>	<p>部認めているため、今後どのような工夫が考えられるか、これまでの経過等も踏まえ、検討していきたい。</p> <p>(教職員・教育活動課)</p> <p>(3) 崖及び斜面の保守管理について</p> <p>崖や斜面の調査については、毎年度実施しており、危険度等についての報告を受けている。</p> <p>危険個所があった場合は、報告書に基づき、補強工事を実施している。</p> <p>今後とも、毎年の調査を継続し、施設課等関係所管と連携を図りながら適切な保守管理に努めていきたい。</p> <p>(教職員・教育活動課)</p>
--	--